

ワンラブ通信

Vol.08 2022年12月号



【発行】

松江市社会福祉法人連絡会事務局

(松江市ボランティアセンター)

TEL:27-8388 FAX:24-1020

E-mail:volunteer@shakyou-matsue.jp

介護の出前授業のご紹介

市内の中学校において、講話や体験的な活動等を実施することにより、「福祉の心」を育む教育を推進するとともに、高齢者や介護に関する興味・関心を醸成し、将来の進学または職業選択の一助とすることを目的として実施しています。

講師については、介護現場で高齢者を第一線で支える介護施設職員を「介護の仕事コンシェルジュ」として派遣します。



授業の様子



会員法人の皆様にも
講師として活躍いただいています！



参加した生徒からの声

福祉は難しいことではなく、
一人ひとりが普段通りかつ、
人のために少し行動することで
成り立っているんだなあと思った。

写真に写っていた施設の職員や利用者
の人達の笑顔が印象的で、お互いを信頼
しているということがとても伝わってきた。

思いやりを持って接する姿勢や、
出会いを大切にすることを学んだので、
これから先につなげていけるようにしたい。

社会福祉法人上口福祉会

社会貢献活動



当法人の基本理念は「ともに生きる」です。どんなに歳を重ねても、どんなに困りごとが多くても、そして時代が変わっても、私たちは「人」を大切にしてい共に歩んでまいります。人とは「利用者さま」、「利用児さま」、「地域みなさま」、「職員」です。人と人が手をつなぎ、子どもと大人が手をつなぎ、たくさんのご縁の中で「ここにいてよかった」「ここにきてよかった」と言ってもらえるよう努力いたします。

それでは当法人の社会貢献活動の取組みの一端を紹介します。

≫ケアハウス古志原ヒルズ

- ・古志原市営住宅自治会長、松南第一包括ケースワーカーとの協働により、古志原市営住宅の方を対象に「地域貢献！支え合い！地域とつながる買い物ツアー」を実施しています。

≫特別養護老人ホームコーポ上口

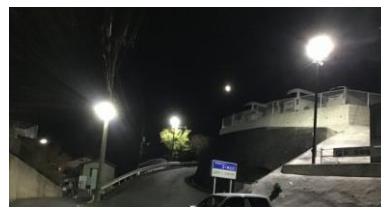
- ・コーポ上口界隈は街路灯がなく、夕暮れ時になると寂し気でしたが、本年9月に街路灯を4箇所設置し、近隣の皆さまから「通学ルートでもあり子供たちの防犯対策になった」との声をいただいています。
- ・隣接する当法人3施設(古志原ヒルズ、コーポ上口、なかよし保育園)でお地蔵さまを建立し、開眼供養を地域の方々で行いました。地域の皆さま、施設の利用者・利用児さまを見守ってくださるという意味を込めて「みまもり地蔵」と名付けました。

≫障害者施設まがたま

- ・玉湯小学校の皆さんに福祉の仕事を学んで頂くために、施設を見学してもらったり、学習会を開催しました。
- ・一人でも多くの子どもたちの笑顔作りのお手伝いがしたいという思いから、「フードバンクしまねあったか元気便」への生産物提供を行いました。

≫なかよし保育園

- ・園舎前の道路が降園時には特に交通量が多くなるため、職員が夕方駐車場に立って誘導や声かけをして子どもの安全を守っています。保護者や子どもの交通安全の意識付けにも繋がっています。





社会福祉法人 島根東光学園



社会福祉法人 島根東光学園は、明治時代に地元の福祉に貢献した福田平治氏の理念を引き継ぎ、昭和22年より母子福祉事業として母子生活支援施設「島根東光学園」の運営を行っています。母子生活支援施設は、児童福祉法第38条に基づいて設置された児童福祉施設で、全国に約220ヶ所、島根県には1か所あります。島根東光学園は県内唯一の母子生活支援施設として、ひとり親支援の重要な役割を担っています。

施設には何らかの事情や困難を抱えた母子家庭の方が入所し、母と子が一緒に暮らしながら自立を目指して生活しています。施設職員は母と子の願いを尊重し、その思いに寄り添いながら、心身ともに安心した生活を送ることができるよう支援しています。平成28年には各居室に風呂、トイレ等を備えたオール電化の施設に改築し、より便利で快適な生活が送れるようになりました。また、近年増えている様々な困難を抱えた母子の受け入れも積極的に行い、県外からの広域入所にも柔軟に対応しています。

<地域貢献活動として>

施設では、子育て、就労などの生活支援、児童の健全育成、学習支援等の他、年間を通じて様々な伝統行事を取り入れた季節行事を行っています。それらの行事は入所母子だけでなく、地域の方を招待して賑やかにっており、地域の方との交流の場となっています。

【ちまき作り】



【ハロウィンパーティー】



【もちつき会】



【起震車体験】



その他、起震車体験を実施した際には、近隣自治会に参加を呼びかけて地域の防災教育に役立ててもらっています。また、集会室の開放、老人施設への訪問、実習・ボランティアを積極的に受け入れるなど、地域のお役に立てる施設でもありたいと思っています。



社会福祉法人 千鳥福祉会

地域資源を活用した魅力あるまちづくり戦略イベントへの協力
～地域振興に向けた地域貢献、共生活動～



取り組みに至った経緯やきっかけ

松江市東持田町にある社会福祉法人として、地域のニーズに即した貢献活動ができないか、また、障がいがある方の理解を地域住民に深めていく為にはどのような関り方ができるのか等を持田公民館に相談させて頂いた事が取り組みのきっかけでした。

その頃持田公民館様では区域内にそびえる北山山系を貴重な地域資源とする魅力あるまちづくり戦略を熱心に検討されており、その取り組みの一部であるイベントの協力を当法人でもさせて頂く事になりました。



ヒルクライム松江北山



ヒルクライム松江北山

取り組みの内容

毎年6月頃に開催されている『ヒルクライム松江北山』は全長6.5km、標高差400mの大平山の林道を自転車で上りぬくタイムレース、10月に開催される『松江北山登山駅伝』は大平山、枕木山の自然道横断を含め、過酷な上り下りのある全長27km、標高差450mのコースを駆け抜ける松江版箱根駅伝レースとしてイメージされています。

県内ばかりでなく県外からも多数参加されるイベントであり、運営側も多く地域住民の方、島大生、関連団体の方々などの力を合わせて実施されており、まさに地域資源を活用した共創活動と感じています。

コロナ禍という事もあり、充分なご協力ができない年もありましたが、当法人は2019年から開催されている両イベントに大会役員・スタッフ協力員や公用車の活用で協力させて頂いております。また、法人側の協力ばかりでなく、このイベントにおける参加賞の準備、ゼッケンの製作等を当法人の利用者様の作業活動としても提供頂き、障がいがある方の力の発揮の場、また理解の場として活かせるよう積極的な御協力を頂いています。

当法人としては、今後も活用できる施設資源、マンパワー等提供できる力を注ぎ、地域住民の皆様と共に力を合わせて、魅力ある地域創りに貢献して行きたいと思っております。



松江北山登山駅伝



松江北山登山駅伝